

地域課題・ニーズシート

整理番号	B	団体名	岡山県備前市 市民生活部 環境課	検討の段階	■ 構想 □ 調査・検討 □ 事業化検討
取り組みたい分野		公共施設の再エネ導入・省エネ化（LED化等）／未利用地の活用／ごみ収集車・燃料の脱炭素化／カキ殻の有効活用			
関連する地域課題		公共施設の老朽化／光熱費高騰による財政負担／人口減少に伴う施設の統廃合			

①解決したい課題

遅れている公共施設の脱炭素化について、何から・どの手法で進めるか、施設全体の方向性を描きたい

②主に相談したいこと（提案先の指定にはこの課題番号をお使いください）

課題番号	相談したいこと	求めている情報・提案の例
B-1	公共施設のLED化・省エネ改修の進め方	多くの施設で済んでいないLED化を計画的に進める手法（一括調達、ESCO等）と、防災・減災の補助制度も活用した財源の組み立て方
B-2	坑水処理施設・廃棄物処理施設の脱炭素化	設備の老朽化や更新の時期を捉えた省エネ化、敷地・建屋への太陽光や蓄電池の導入など、特殊な施設での進め方と事例
B-3	屋根・壁・未利用地への再エネ導入	耐荷重の小さい屋根・壁へのペロブスカイト太陽電池等の設置、最終処分場・埋立地など杭を打ちにくい用地や運動公園等の広い敷地への設置方法、蓄電池との組合せ
B-4	リバースオークション等による再エネ電力の調達	競り下げ方式による調達の手法と事例、価格の変動や調達先の事業撤退による急な価格上昇などのリスクを抑える契約・仕組み
B-5	EVパッカー車（電動ごみ収集車）の導入	狭い道路や1日の走行距離など、市の収集条件に合う車両の大きさ・仕様と費用、充電設備、導入の事例
B-6	BDF以外の脱炭素燃料の活用	ごみ焼却施設などで使う燃料について、BDF以外の脱炭素燃料（バイオ燃料、合成燃料、水素等）の選択肢と、供給の体制・費用
B-7	カキ殻の有効活用と脱炭素	年6,000～8,000トン発生するカキ殻の新たな用途・製品化と販路、運搬費を抑える仕組み（船舶輸送等）、海の再生効果の検証

上記に限らず、課題の解決につながるご提案を幅広く歓迎します。

③想定される連携先の例（これに限りません）

LED照明・省エネ設備、ESCOの事業者／太陽光（ペロブスカイト太陽電池を含む）・蓄電池のメーカー・施工事業者／再エネ電力の小売・調達支援（リバースオークション等）の事業者／EVパッカー車等の電動車両・充電設備の事業者／バイオ燃料・合成燃料等の事業者／カキ殻等の資源循環の事業者・研究機関／金融機関

④検討の状況・留意事項

- ・構想段階であり、公共施設全体の方向性づくりから相談したい。具体的な事業の内容・予算・時期は未定
- ・施設は各所管課が管理しており、庁内での認識の共有と、所管課の負担を抑えた進め方を重視します
- ・予算・人員・専門知識の確保が課題。財源は補助制度の活用を中心に検討（リース方式は現時点で想定なし）

⑤背景・現状

- ・公共施設の老朽化と光熱費の上昇が続き、多くの施設でLED化が済んでいない
- ・人口減少に伴い施設の再編を検討中。施設ごとの脱炭素化の検討はこれから

⑥これまでの取組

- ・ごみ焼却施設の燃料のBDF（バイオディーゼル燃料）化
- ・市全体の再エネ導入ポテンシャルの調査
- ・リユース事業者と連携した、ごみの減量・リユースの取組
- ・地元漁協と連携した、カキ殻の資源循環の取組（海底への敷設、農業用資材としての販売等）